

関西大学高等教育研究 投稿規程

関西大学教育開発支援センターでは、教育開発支援センター規程第2条第10項の規定に基づき、大学教育に関する情報の発信を目的として『関西大学高等教育研究』を年1回発行する。本規程では『関西大学高等教育研究』を編集・発行するために必要な事項を規定する。

1 名称

『関西大学高等教育研究』

2 編集委員会

『関西大学高等教育研究』の編集・発行にあたって、編集委員会を設ける。編集委員は、教育開発支援センター長、教育開発支援センター専門委員、教育開発支援センター長が必要と認めた者で構成する。

編集委員会は、『関西大学高等教育研究』に掲載される原稿の編集及び『関西大学高等教育研究』の発行にあたる。また、編集委員会は、原稿について執筆者との協議を通じ、内容の変更を求める場合がある。

3 投稿資格

関西大学教育職員、事務職員および関西大学大学院生

その他、編集委員会が適当と認めた者も投稿できるが上記の者を優先して掲載する

4 刊行期日

毎年3月末日

5 掲載原稿の種類

掲載原稿の種類は、「論文」・「研究ノート」・「その他」とする。掲載内容は、いずれも高等教育を題材としたものとする。また、未発表のものに限る（ただし、口頭発表及びその配付資料はこの限りでない）。

投稿する場合、「論文」・「研究ノート」・「その他」のうち、希望するいずれかの区分を明記する。ただし、掲載にあたって、編集委員会は執筆者との協議を通じ区分の変更を求める場合がある。

- ・論文：高等教育研究に貢献できる問題提起と意義があり、この分野に関心を持つ教員や読者にとって価値と有効性があるもの。実践研究・事例研究を含む。
- ・研究ノート：高等教育に関する研究成果をまとめたもの。独創的な内容や新しい知見の含まれることを尊重し、一般に論文に求められる包括性・体系性・完結性は必ずしも満たさなくてもよい。
- ・その他：高等教育に関連した著書、文献、資料に関する紹介・評論を内容としたもの。

6 執筆要領

別途定める。

7 研究倫理

「人を対象とする研究」に関する原稿（「論文」・「研究ノート」・「その他」）を執筆する場合は、「関西大学における人を対象とする研究に関する倫理規程」を適用し、「研究者の責務」を遵守するものとする。

8 著作権

本紀要に投稿された論文等の著作権は、関西大学教育開発支援センターが保有する。

9 Web 上への公開

教育開発支援センターのホームページ及び関西大学学術リポジトリにおいて原則公開する。

附則

この規程（改正）は 2019 年 7 月 24 日から施行する。

関西大学高等教育研究 執筆要領

- 1 本誌に掲載される論文等 1 篇の分量（日本語の表題・著者名、英語の表題・著者名・要旨（Abstract）、キーワード、図表を含む）は、原則として以下とする。ただし、編集委員会が認める場合はこの限りではない。
論文 : 20,000 字（12 ページ）以内
研究ノート : 10,000 字（6 ページ）以内
その他 : 6,500 字（4 ページ）以内
- 2 原稿は「原稿テンプレート」に則り Word 形式で作成の上、指定された期限内に投稿を行う。なお本誌に掲載された書類等は返却しない。
- 3 原稿は、サイズは A4 判、マージンは上下左右ともに 25mm、1 行 22 字、1 ページ 40 行の 2 段組みの指定されたフォーマットで作成する。図表を挿入する場合、上に示した総頁数を越えないようにする。
- 4 提出の際には Word 形式の原稿、PDF 形式の原稿、「投稿者カード」、「チェックリスト」を指定された期限までに提出する。
- 5 「タイトル」は日本語と英語で記載する。「キーワード」は 3～5 語で日本語と英語ともに記載する。英語の「タイトル」、「キーワード」に関しては、専門家（論文内容についてある程度知識があり、英文校閲の能力があると判断されるネイティブもしくは同等の者）の校閲を経たものとする。論文の場合はこれに加えて要旨（Abstract）を記載してから本文を始める。要旨（Abstract）の分量は、日本語の場合は 400 字以下、英文の場合は 200 語以下とする。
- 6 「タイトル」と要旨（Abstract）の間に執筆者（所属）を日本語と英語で記載する。執筆者が複数の場合は、執筆代表者を連名者の筆頭に置き、日本語で全員分記載後、英語で記載する。
- 7 見出しは、すべて横見出しとし、アラビア数字で番号を付す。10.5 ポイント・MS 明朝・太字とし、半角数字、ピリオド、全角スペースの順で統一する（例：1. オンライン授業について）。また、各見出しの最後に一行改行を入れる。
- 8 句読点は「、」「。」を用い、基本的には括弧は全角の丸括弧を用いる。ただし、括弧の前後が英数字や「,」「.」の場合は半角の丸括弧を用いる。例：Kansai University(KU), Suita University
- 9 図及び表には連番を付し、簡潔な見出しをつける。
- 10 本文における参考文献は、（著者名、刊行年）のように表示する。複数の参考文献を同じ箇所に表示する場合は、「(山手、2013; 垂水、2015)」とする。著者が 2 名の場合は「関大・吹田 (2019) は…」 「Michael & Mike (2019)」とし、3 名以上の場合は「関大他 (2019) は…」 「Michael et.al.(2019)…」とする。同一著者の同一刊行年の異なる文献を引用する場合は、刊行年の後にアルファベットを付して区別する（例：2006a, 2006b, …）。
- 11 「註」及び参考文献は、本文の末尾に一括して記載する。本文中での「註」の指示は、上付きの連番で示す。括弧は付けない。参考文献は、「註」の後に著者名のアルファベット順で記載する。また、参考文献の表記は別紙「参考文献の表記について」にしたがう。

1 単行本の場合

＜日本語＞ 著者名（発行年）『書名』 発行所.

例：関大太郎（2003）『関西大学における初年次教育の課題』 関西大学出版部.

＜英語＞ 著者名.（発行年）. 書名, 発行所：発行地.

例：Smith, T. (2007). *Modern Higher Education and Society*, Los Angeles, CA: UNIV Press.

2 単行本の特定の章の場合

＜日本語＞ 章の著者名（発行年）「章の題目」 収録されている単行本の編者名 『書名』, 掲載ページ. 発行所.

例：吹田花子（2016）「大学が社会に果たす役割」 関大太郎・山手次郎編著『大学教育改革』, pp.63-86. 関西大学出版部.

※なお、複数の和文著者名は「・」でつなぐ

＜英語＞ 章の著者名.（発行年）. 章の題目. 収録されている単行本の編者名, 書名, 掲載ページ. 発行所:発行地.

例：Johnson, A., McAdams, G., & Pawling, A. (2005). Creating inclusive classroom. In P. M. Simpson, & K. A. Tanaka (Eds.), *Internationalization of higher education* pp.56-82. New York: Uni Press.

3 雑誌論文の場合

＜日本語＞ 著者名（発行年）「論文題目」『雑誌名』 巻(号)数, 掲載ページ(pp は不要).

例：凜風桜子（2010）「高大接続と初年次教育」『高等教育開発ジャーナル』 12(1), 100-117.

＜英語＞ 著者名.（発行年）. 論文題目. 雑誌名, 巻(号)数, 掲載ページ(pp は不要).

例：Chin, A. J., & Gray, E. (2012). Communication skills: an active learning approach. *Journal of College Students*, 15(2), 28-50.

4 翻訳書の場合

原著者名.（発行年）. 書名, 発行所:発行地. 原著者名(カナ名) 訳者名（翻訳書発行年）『翻訳書名』 翻訳書の発行所.

例：Brooks, A., & Ball, C. (2001). *Designing learning environment (Expanded 3rd ed.)*, San Diego, CA: Uni Press. A・ブルックス, C・ボール 関西文子訳 (2005)『学習環境デザイン』吹田山手出版.

5 インターネットからの引用の場合

＜日本語＞ 作成元（作成年）『ページタイトル』（URL）（引用者の最新アクセス日）

例：山手市教育審議会（2010）『個人情報保護に係る指針』

(<http://www.suita.edu.jp/xxx/xxxx/xxxx.12345.htm>) (2019年5月20日)

＜英語＞ 作成元.（作成年）. ページタイトル, (URL), (引用者の最新アクセス日).

例：Association for Teaching and Learning. (2012). *Designing an Inclusive Classroom*, (<http://www.atl.edu.us/xxx/xxxx/xxxx.12345.htm>), (2019.5.20).

執 筆 者 紹 介

三 浦 真 琴	関西大学教育推進部教授
山 田 剛 史	関西大学教育推進部教授
森 田 亜矢子	関西大学人間健康学部准教授
大 西 洋	関西大学教育開発支援センター研究員
末 吉 朋 美	関西大学国際教育センター特任常勤講師
山 本 晃 彦	鈴鹿大学国際地域学部助教
杉 本 英 晴	関西大学社会学部准教授
岩 崎 保 道	高知大学IR・評価機構教授
澤 口 遼	関西大学第一中学校非常勤講師
仲 島 淳 子	関西大学外国語教育学研究科博士課程後期課程
藤 田 里 実	大阪経済大学専任講師
池 田 佳 子	関西大学国際部教授
上 田 正 人	関西大学化学生命工学部教授
アレキサンダー・ベネット	関西大学国際部教授
古 川 智 樹	関西大学国際部教授

(掲載順)

編 集 委 員

編集長：中 澤 務（文学部教授）
副編集長：岩 崎 千 晶（教育推進部教授）
委 員：三 浦 真 琴（教育推進部教授）
山 田 剛 史（教育推進部教授）
山 田 嘉 徳（教育推進部准教授）



関西大学高等教育研究 第14号

2023（令和5）年3月22日印刷
2023（令和5）年3月22日発行
編集発行 関西大学教育開発支援センター
〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号

印刷 株式会社 ディーワーク
〒532-0026 大阪市淀川区塚本3丁目14番6号

Kansai University Journal of Higher Education

March 2023

Vol.14

Kansai University
Center for Teaching and Learning

ISSN : 2185-6389